

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	がん看護援助論 Nursing Care of Cancer Patients and Their Family			担当 教員	鈴木志津枝（専任） 安藤悦子（専任） 植本雅治（専任） 雄西智恵美（非常勤）	
開講年次	1年次前期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目 実践看護学	授業形態	講義、セミナー	
選択必修	選択	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい								
<p>がんの予防、早期発見から治療期、再発期、終末期までにわたるがん闘病過程に生じる様々な課題の理解と支援について学習を深める。手術、放射線療法、造血幹細胞移植等を受けている患者への援助方法を追求するとともに、患者の生活力に合わせて柔軟にケアを展開していく高度な実践能力を修得する。</p>								
授業のキーワード								
がん闘病過程、がん治療、病名告知・予後告知、がんサバイバーシップ、がん体験者への支援、セルフヘルプグループ								
講義回数	授業内容及び計画							
第1回	第1回～第11回、第16回（鈴木・安藤担当）							
第2回	がん予防と早期発見、がん患者とヘルスプロモーション							
第3回	病名告知・予後告知を受けるがん患者のアセスメントと看護援助							
第4回	治療の選択・意思決定の必要ながん患者のアセスメントと看護援助							
第5回	手術療法を受けるがん患者・家族のアセスメントと看護援助1：喪失、身体像の変化							
第6回	手術療法を受けるがん患者・家族のアセスメントと看護援助2：生活障害マネジメント							
第7回	放射線療法を受けるがん患者・家族のアセスメントと看護援助							
第8回	造血幹細胞移植を受けるがん患者・家族のアセスメントと看護援助							
第9回	がん体験者に対するセルフケアを高める支援1：情報探求、交渉スキル							
第10回	がん体験者に対するセルフケアを高める支援2：コミュニケーションスキル							
第11回	終末期にあるがん体験者が意味を見出すことに向けた支援							
第12回	補完・代替療法を求める人への支援							
第13回	サポートグループの運営／患者・家族のカウンセリング：植本							
第14回	乳がん体験者へのトータルケア＜乳がんサポート＞：雄西							
第15回								
テキスト								
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・日本がん看護学会誌；佐藤禮子，小島操子監訳：がん看護コアカリキュラム，医学書院，2007 ・近藤まゆみ，嶺岸秀子編著：がんサバイバーシップ がんとともに生きる人々への看護ケア，医歯薬出版株式会社，2006 ・その他の文献は、授業の中で提示します。 							
成績評価の方法	プレゼンテーション（20%）及びレポート（80%）							
教員から学生へのメッセージ	鈴木が担当する授業に関して、受講生は既存の文献や自己の実践事例に基づきまとめ、プレゼンテーションを行い、その内容に基づきディスカッションを行います。							

